

# 少子高齢化が導く 日本の明るい未来予想図

函館市医師会  
中島内科循環器科メンタルクリニック

なかじま しげお  
中島 滋夫

ついに日経平均はバブル後の最高値を更新しました。今後、円安を背景に10年後の株価は10万円を超えるでしょう！これから10年先の日本はといえば地上では無人の自動運転車が、上空には空飛ぶ車が飛び交い、商店やレストランはすっかり無人化され宅配もロボットが行きます。一家に一台、今よりさらに進化したChatGPT10.0を搭載した人型（美人？）ロボットが家事や料理さらには晩酌の相手にまでなってくれるでしょう。がんや認知症は完治可能となり皆100歳まで老化しなくなる、これって夢物語でしょうか？

今から45年ほど前、私の従兄で現在、湯の川で開業されている中島俊雄先生（最近、最愛の奥様を亡くされました。心よりご冥福をお祈り申し上げます）に、“これからはパソコンの時代になる！”と言って富士通のPCで何ができるのかをいろいろと熱く語っていただいたことを今でも鮮明に覚えています。衝撃を受けた私は、とある夏の日に秋葉原に行ってNECのPC-8801と重量級のブラウン管モニター、巨大なドットプリンターを大枚をはたいて購入し汗だくになりながら御徒町にあった下宿の4畳半の部屋に運び込んでBASICとよばれた言語を使ってデジタルの血中濃度を予測する幼稚なプログラムを作って悦に入っていました。その当時、今日のように一人一台スマホと称する当時のIBMのメインフレームをはるかに凌駕する高性能なコンピュータを中学生までもが携帯して持ち歩く時代が来ることをいったい誰が予測できたでしょうか？

今から30年ほど前に私は、そのころまだ東大の講師をされていた永井良三先生（現自治医科大学学長）にご紹介をいただきアメリカのパーモント大学に留学しておりました。当時、日本はバブル経済の絶頂期でした。ある日、研究室の同僚が近くの公園に大統領候補のビル・クリントンが来て選挙演説をするから一緒に行かないかと誘われ嬉々として出かけました。颯爽と登場した40代のクリントンに居並ぶ聴衆とともに握手に応じてもらえた時には大変感激しましたが、彼は演説を始めると開口一番、“日本はEnemyだ。私が大統領になって日本を叩き潰す！”と熱く檄を飛ばしました。その言葉どおりにアメリカは外交や金融政策といったあらゆる手段で日本を猛烈な円高に追い込み、資本を一気に引き上げることでバブルを崩壊させ不良債権の山を作ることに成功しました。

今、当時の日本と同じ立場にあるのが中国です。ペリー来航でアメリカにまんまと不平等条約を結ばされた日本は日露戦争までは味方として優遇され、ロシアに勝利すると今度は敵として太平洋戦争に誘い込まれて壊滅しました。戦後の冷戦時代には味方として1ドル360円という異常な円安の厚遇を受け高度成長を成し遂げましたがソビエト崩壊後には敵として再度、叩き潰されてしまいました。いまアメリカは日本を対中国の最も強い味方として優遇しています。バブル時代だったら絶対阻止されたはずの次世代半導体工場をIBMと共同で千歳に建設することなどありえなかったでしょう。アメリカが中国と敵対する今後10年は日本経済にとってはバラ色です。

そう書くと必ず悲観論“日本の財政は破綻寸前だの少子高齢化で大変なことになる”などの話が出てきます。しかし資本主義経済においては会社や国の借金額の多寡は問題になりません。負債とともに資産評価をしない会計などありえず、負債額だけが問題ならソフトバンクなどは直ちに倒産するでしょう。日銀が資産として計上している日本国債は500兆円以上ありますが子会社ともいえる日銀に日本政府が返済する必要などありません。2,000兆円あまりに膨らんだ日本国民全体の金融資産のほとんどが利息の付かない銀行預金経由で国債購入に充てられています。国民が急に全額を銀行から引き出して使いたいと言いつつ出ることなどありえません。

コロナ禍は多くの不幸をもたらすと同時に人類の進歩を早めました。これまで10年以上を要したワクチン開発はたった2年で完成しました。人類は危機になればなるほど進歩の速度を増します。日本で少子高齢化が進めば進むほど無人化ロボット化の技術は世界で最も早く実現され、人が少なくなることによって完全雇用が実現して希少価値となった若者が優遇されると同時に定年が廃止され年金などに頼らなくてもいつまでも働ける世の中が実現するでしょう。

コロナのおかげであらゆる学会にオンラインで参加できるようになり、学会マニアの私は大変楽しい恩恵を受けられるようになったことは以前このコラムで書きました。

6月は日本抗加齢医学会にオンラインで参加しましたが、すでに抗老化ワクチンや低分子化合物の開発が盛んにおこなわれ、老化の制御も実現間近です。

老化を防ぐため少食と運動さらに楽観主義が重要であることはよく知られた事実です。私は超楽観主義者なので死ぬまで働いて明るい未来をこの目で見てみたいと切に願っています。みなさんも頑張りましょう！